

# どうする、町村で一番低い投票率



新井賢次

選挙管理委員会書記長

啓発活動、主権者教育に注力する

**質問** 先の知事選、参院選の投票率が県内町村では最低だった。不名誉な記録だ。今後の対応は。

**答弁** 選挙管理委員会書記長 町では主権者教育の取り組みを進めており、選挙に関心を持ってもらうため従来の啓発活動に加え、出前授業による高校での模擬選挙や、児童生徒の町政への参加意識を醸成するために子供議会を開催している。

主体的に考える力を身に付けることが将来的には投票率の向上につながるものであると考えている。

**花火大会、ふるさとまつりはどうなる**

**質問** 財源であるふるさと創生基金の運用実績は。

**答弁** 町長 地域振興のため国の施策として昭和63年、平成元年に計1億円が交付された。町では、趣旨に基づき基金を創設し積み立てを行った。さ



威勢のいい和太鼓で盛り上がった

らに、平成2年度から7年度までに約6億4000万円が交付された。その後、預金利子等により総額で約8億7500万円を積み立てた。

本年度実施予定の事業を含めて8億4300万円余を取り崩して活用しており、本年度末現在高は約3200万円となる見込みである。

**質問** 事業のあり方の見直し作業は進んでいるのか。

**答弁** 町長 花火大会は今後も継続する方針となり、財源確保のため新たな取り組みを行うこととした。具体的には、周辺市の企業やシャトルバス利用者等に協賛金を募った。また有料観覧席及び募金箱の増設等も行った。

ふるさとまつりは検討委員会を発足させ、各区長へのアンケート等に基づき、検討を重ねた。その結果、上下新田地区の祇園祭とは別事業として事業の再構築に取り組むことになった。

今後も産業祭、町民体育祭を含めて、各イベントが持つ役割や重要性を考慮しつつ、皆様の声を踏まえ慎重に判断していく。

**質問** 総合計画は行政運営において10年先の町の目指す方向性を見据えた重要な計画である。第6次総合計画はどのような考えのもと策定するのか。

**答弁** 町長 社会の変化が著しく、10年先の未来の姿を想像することは難しくなっている。第6次総合計画では、町が目指す姿である「基本構想」とそれを実現するための手段の概要を示す「基本計画」の二階層構成とし、従来定めていた「実施計画」については、総合計画ではなく各課作成の「個別計画」をもって推進していきたいと考えている。

**質問** 第5次総合計画策定の事業費は。また第6次総合計画の策定方針は。

**答弁** 企画課長 策定費用と5年前に行った見直し費用を合わせ、2580万円程であった。

第6次総合計画はコンサル主導でなく職員の考えでつくり、住民の要望に応えるような内容としたい。

## 公共施設の維持管理は

**質問** 公共施設の計画的な維持管理、更新や施設配置の適正化等についての町の取り組みと総合管理計画の現状は。

**答弁** 町長 公共施設をより長く経済的に利用していくため、また財政状況が厳しい中でも、公共サービスを維持向上させていくため、平成28年度に玉村町公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設の総合的

こんな質問もしています

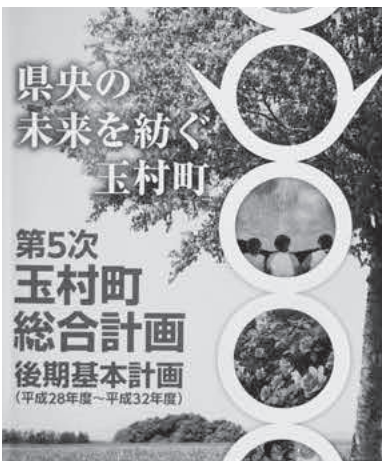
- ・中高年の引きこもりについて
- ・住民の防災意識高揚について

渡辺俊彦

町長

基本構想・計画の二階層構成の考え

# 次期総合計画策定の方向性は



来年度が計画期間の最終年度となる第5次総合計画

的に利用していくため、また財政状況が厳しい中でも、公共サービスを維持向上させていくため、平成28年度に玉村町公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設の総合的

**質問** 道路、橋梁、上下水道等インフラについての管理計画及び取り組みはどうか。

**答弁** 町長 道路・橋梁は「舗装修繕計画」、橋梁長寿命化計画」に基づき優先順位を決め、修繕・更新を実施している。水道施設については、「配水施設等更新調査業務委託」から得たデータをもとに、耐震設計等を盛り込んだ更新計画を策定中である。下水道施設については「下水道ストックマネジメント計画」を策定する予定である。

かつ計画的な管理基本方針を定めた。